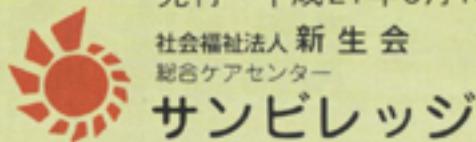


陽の里

発行 平成21年3月10日



No.102

テーマ

新年度に向けて・瑞穂事業の展開



▶静かな場所で琴の生演奏

音楽の力

岐阜県音楽療法士 石際久美

本館にあるひまわりホールでは、週に一度、『歌おう会』が開かれています。

ある日のこと、ご利用者が昔馴染みの曲をリクエストされました。ピアノ伴奏にあわせて歌ううち、泣き声になり声が上ります。すると、となりやおむかいの方々も、同じように涙を流しながら、共に声を合わせて歌われました。歌を歌ううちみんなの心には、戦時中のこと、帰つてこなつた主人のこと、燃えた家のことなどいろいろ思い出されたのでしょう。昔のことを思い出して泣けてきたそうです。その時から何故か皆さん穏やかな表情で過ごされています。

歌を歌うと、当時の頃とその時に感じた思いが蘇り、うれしくなつたり悲しくなつたりします。思い出はそれぞ違うのですが、音楽を共有するだけで、思いを分かち合える大勢の仲間の存在も感じることができます。

私は皆さんと同じ時代をすごしてはいませんが、思い出していくだいたり、懐かしんでいただいたりするたび、一緒になつて感激しています。そんな時、音楽にはすごい力があると思います。

音楽を使ってお一人お一人の輝いていた頃を思い出しきて頂くことで、ご利用者が自信を取り戻し、豊かな表情になられます。私はそんな様子を拝見するたび、音楽療法士という仕事にやりがいを感じると共に、さらにご利用者のための音楽技術を勉強していきたいと思います。



新年度に向けて

理事長

石原美智子

新年度を迎えるに当たり （サンビ校が誇る教育システム）

幸せなことに、これらの目的を理解してスタッフが燃えています。

サンビレッジ国際医療福祉専門学校

村山洋志

サンビレッジ国際医療福祉専門学校長

社会福祉法人「新生会」は、今年で33歳になります。前理事長が豊かな感性で時代の先を読み、困難な中から高齢者介護の道を開きました。あの当時のことを思い返しますと隔世の感があります。

私は施設を大きくすることには余り関心はなく、事業内容がより豊かになることを願つて展開してきました。でも時代の波というか、必要性を感じたり周囲の人々の後押しなどもあり、いつの間にか大垣や岐阜にも法人の事業が展開されるようになりました。そしてこの度、瑞穂市にもいくつかの事業を行うことになりました。

私は常に何か事業を行う時は、それなりの目的を設定します。今回は、少子高齢社会の宿命である財源や人手が少なくなる中で、なお質を少しでも低下させないための工夫を凝らして挑戦してみないと考えています。

池田町から発した私たちの福祉事業ですが、「何だか優しい人になつたみたい」と言う人々の輪が更に大きくなつて、サンビレッジのシンボルマークである太陽の炎が示すように、人々と争うのではなく、他人の幸せを喜ぶことのできる質の高い人生を共有できる社会を目指しています。

また、社会情勢からいと、少子高齢化の中で若者が少なくなり、また暫く前までの名古屋景気の影響もあり、福祉・医療を目指す学生が全国的に少なくなつてきてている状況にあります。だが、中部圏の景気の冷え込みを受けて、福祉・医療の仕事がクローズアップされるようになつてきました。

景気に左右されない、社会を支えるやりがいのある仕事。それが「福祉・医療」の仕事です。その意義を社会に伝達し誘導していくことも学校の仕事かと思



このような豊かな環境の中で、学生、地域住民、施設の皆さんとの交流を深めつつ、これからも未来を支える若者を心に入れ育てていきたいと思います。

～サンビレッジの新たな挑戦～

「夢」を実現できる職場で
あなたの「夢」を見つけませんか? 平成23年「サンビレッジ瑞穂」開設予定

ここ池田町「サンビレッジ新生苑」では、私の生まれる以前から高齢者の介護が行われ、学びとなる失敗と豊かな多くの経験から介護の専門性を追求しています。同時に私達は「人財（人材）」を宝と考えその育成に力を注いでいます。それは、単なる知識や技術の修得のみならず「人の生き方」について考え、学び、思いを共有することで、職業人としてだけでなく、自分自身の価値観や人生観の学び・成長に繋げています。私達は人財の採用時に「人」を観ます。資格の有無や学力試験はありません。面接と職場体験を通じ、皆様にも職場を選択する場面を提供しています。

職場での豊かな経験が自分自身の「自己実現」に繋がる魅力あるこの職場で皆様にお会いできることを願っています。下記には現在のサンビレッジ瑞穂の事業予定の案内を掲載しています。

今後も「サンビレッジ瑞穂」開設の動向に是非ご注目下さい。

瑞穂準備室 玉城栄之功

サンビレッジ瑞穂事業

【※ 2009年3月現在】

●サンビレッジ瑞穂

特別養護老人ホーム 定員72名

ショートステイ 定員9名 デイサービス(一般) 定員25名

訪問看護ステーション・居宅介護支援事業所・介護予防拠点

●もやいの家・瑞穂

グループホーム 定員18名

デイサービス(認知症) 定員12名

介護予防拠点・配食サービス

介護職・看護職員同時募集

(勤務時間・日数は応相談)

詳しくはホームページをご覧下さい

<http://www.shinsei-kai.or.jp/>

出発はサンビ校!



△お問い合わせ△
サンビレッジ国際医療福祉専門学校
TEL (0585) 45-12220

この度、厚生労働省により「2年訓練の介護福祉士養成コース」が実施されることになりました。このコースは離職者（求職者）の方々を対象とし、職業訓練の一環として2年間の養成課程（基本的に授業料は免除）にて介護福祉士の国家資格を取得した上で、介護現場への就職を支援する制度です。

サンビレッジ国際医療福祉専門学校はこの養成課程の訓練実施校となっており、ハローワークでの申込受付が既に始まっています〔締切日：3/17(火)〕。詳細は最寄りのハローワーク職業訓練担当窓口にお問合せ下さい。

「全くの未経験だけれど…」と迷ってみえる方でもご安心ください。経験豊富な教員による丁寧な指導、第2の校舎「サンビレッジ新生苑」での現場実習、福祉先進国のオーストラリアへの海外研修等により、専門的な知識と技術、そして感性が身に付きます。

今、介護の分野は様々な個性や社会経験を持つスタッフを必要としています。皆さんの笑顔やアイディアが、関わった利用者さんの、そして皆さん自身の人生を豊かにしていきます。

さあ、介護という広く明るいフィールドで一緒に活躍してみませんか!



飛ばそうあなたに HOT あ・つ・たかメール

利用者、家族、スタッフ、そして地域の皆様へ

「デイセンター津村」へ母親の利子さんを迎えて息子さんが来られました。「楽しかったワ」と利子さんが車に乗って帰つて行かれます。

利子さんは今で言うキャリアウーマン。当時は今よりも男女差のある時代でした。その中で女性として初の課長に就任した方です。



それが今では積極的に食事の準備から後始末まで手伝つています。利子さんは料理。デイセンターに来られた当初は卵の殻も剥けず隠れる様に部屋の片隅に座つていました。それを聞いた息子さんはとても不思議がられ「仕事一筋で全く台所に立つ姿を見たことが無かつたのに、新しいお母さんを発見した」「そんな事も出来るようになつたの」と驚きながら母へ声をかけます。利子さんは「90歳になつて人から色々なことを学べる」と語ります。

「津村へ来る前は年齢とともに知人と交流もなくなり家で閉じこもる孤独な生活が続いていました。ここに来て同世代の人と時間を共にすることで、社会との繋がりが戻ってきたのでしょうか」と息子さんと職員とがうなずき合います。

そして今日も迎えに来られた息子さんに「楽しかったワ」と応えて帰つて行かれます。

トピックス

第33回チューリップ祭開催

〈テーマ〉～世代を超えた交流に
きっと見つかる笑顔の未来～



日時：平成21年4月11日（土）
場所：サンビレッジ新生苑 中庭

日程	10:00	チューリップ娘町内パレード
	10:30	琴の演奏（グループさくら）
	11:15	池田町ききょう太鼓
	11:30	模擬店開始
	12:00	吹奏楽（岐阜プラスオルケスター）
	13:00	ヴォーカルアンサンブル (近藤治子さん & Caracalla)
	14:00	チャリティー抽選会

皆様のご来苑をお待ちしています。

〈お問い合わせ〉サンビレッジ新生苑 チューリップ祭実行委員会 TEL (0585) 45-5545



ようこそ喫茶「憩いの家」へ



サンビレッジ新生苑の「憩いの家」をご存じですか？ 喫茶スペースとしてバラ記念館1階にオープンして以来、多くの利用者さんやスタッフ、そして地域の人々に親しまれています。そして、その中には毎日のように足を運ばれるスミ子さんの姿もあります。認知症の混乱があるスミ子さんに対しても気軽に話しかけてくださる仲間の笑顔、自分を受容してくれる職員のケア、そして地域から訪れるボランティアの声援。スミ子さんにとって憩いの家は、地域社会との接点として大切な場所なのです。皆さんも明るくてゆったり時間の流れる「憩いの家」へ是非お越しください。